

創立73周年
令和5年度 5月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



食べるって楽しい

園長 北村 恵

4月は、暖かく気持ちのいい日が多く、園庭で育てている野菜がすくすく大きくなりました。にんじん、玉ねぎ、じゃが芋は葉が青々と茂っています。そら豆はさやがふっくらしてきて、下を向いてきているものもあります。収穫の時期が待ち遠しいです。園庭で遊ぶ子供たちも変化に気づき、そっと葉に触れたり、そら豆の重さを確かめたりしています。

ぼんだ組がうさぎ組の時に植えたラディッシュと絹さやもすくすく大きくなったので、先日収穫をしてもらいました。昨年度も一度経験しているのですが、丸々と大きくなったラディッシュが土から出てくるたびに「わ～！大きい」「まん丸～」などと歓声が上がっていました。たらいで一つずつ丁寧に洗うとピカピカになりました。それを見て「きれい！ぴかぴか光ってる」「宝石みたい！」など、思ったことを言葉に出していました。大小様々なラディッシュでいっぱいになったかごが、「塩もみにしてください」と、職員室に届けられました。

絹さやは収穫時期が少し遅れ、大きく育ってしまったので、まるでグリーンピースの様でしたが、それも一つずつ子供たちが筋取りをしてくれました。ちょっと硬くて難しいものは先生が少し切り込みを入れてくれました。筋が取れると「とれた！」と、手に持ってじっと見ていました。担任の先生から「おうちの人はいつもこうやってお料理してくれているんだね。」と聞いて、うなずいている子供もいました。

ゆでた絹さやと塩もみにしたラディッシュを昼食時に4・5歳児の学級に届けました。その後食べている様子を見に行くと、去年は「食べない」「食べられない」と言っていた子供たちも、おいをかいで見たり、なめてみたり、一口かじってみたり、チャレンジする姿が見られました。自分たちで種をまき、水やりをし、収穫をして洗ったり筋取りをしたりした成果でしょうか。

昨年度、子供たちに好き嫌が多いことや、嫌いでもチャレンジして食べてみようとする姿が少ないことが気になっていました。そこで今年度は、4・5歳児の誕生会で食育をテーマに季節の野菜を紹介し、子供たちがその野菜と関わった後（皮をむいたり、時には包丁で刻んだり）、調理して食べる経験を重ねたいと考えています。

食べることに意欲的な子供は、生きるエネルギーに溢れていると感じます。少し苦手な食べ物も口にしてみようとする力は、すべての活動への取組へと繋がっています。完食できたことは達成感に繋がり、自信にもなります。「食べてみたら意外においしい！」「私にも食べられた！」「食べるって楽しい！」という気持ちももてるように、今年度、様々な活動を工夫していきたいと思います。大正幼稚園の子供たちが食べるのが大好きになったら嬉しいです。